

認定病院の改善事例紹介シリーズ

Improve

Vol.27

[紹介事例]

埼玉県 戸田市

医療法人慈公会 公平病院

受審は質改善の大きなチャンス
～チーム公平は一丸で質改善に取り組みます～



人の安心、医療の安全 JQ

公益財団法人 日本医療機能評価機構
Japan Council for Quality Health Care

<https://www.jq-hyouka.jcqhc.or.jp/>

今年度のImproveでは、病院の質改善活動のツールとして、はじめて病院機能評価を活用された医療機関を紹介します。今号は、機能種別「一般病院1」で新規受審した埼玉県戸田市の医療法人慈公会 公平病院を紹介します。



スマートコミュニティホスピタルを目指して

公平病院は、1951年に診療所として戸田市に開設され、その後、有床診療所を経て1993年に病院となり、地域の救急医療を担う病院として主に急性期の疾患に対応してきた。現在は、急性期一般病床として66床（うち22床コロナ専門病床）を有し、内科・糖尿病内科・腫瘍内科・外科・リハビリテーション科などの全13診療科編成、外来・入院だけでなく在宅診療にも取り組み、職員数約120名体制で地域包括ケアシステムの中

でかかりつけ病院としてプライマリ・ケアから緩和ケアまでケアサイクルに対応した診療を提供している。「地域にあるから地域の病院ではなく、地域にあるべくコミュニティホスピタルを目指しています」と院長は語る。自院のブランドをより明確にしていくために、昨今の技術革新を十分に取り入れ、地域に対し、病院独自の取り組みを積極的に発信。「スマートコミュニティホスピタル」の実現に向けて躍進している。



地域のかかりつけ医として
積極的に地域への情報発信を行っています



HP



LINE



Twitter



Instagram

公平病院の各種QRコード



受審は質改善の大きなチャンス

病院の質改善は、一部の職員だけで取り組んでも意味がない。現場まで浸透させるために、すべてのスタッフを巻き込むことに意義がある。「チーム公平」は、すべての職員が一丸となり、1つずつ問題解決していきます。

(理事長・病院長 公平 誠)

受審は、質の改善に取り組む「チャンス」

院長は2016年の就任当時、自院の組織としての脆弱性を感じていた。医療安全や感染対策一つとっても、その時にいるスタッフの知識によって、その場の対応をする、といった属人的な部分が多く、標準化や制度化がなされていない状況だった。部分的に機能させていくだけでなく、全体を俯瞰し最適化していくことが必要だと気付き、かつて自身が所属していた大規模病院で受けた第三者評価の経験から、病院全体を最適化するには、病院機能評価が活用できると確信していた。病院自体も、電子カルテ導入に加え、全職員にICTツール活用可能な環境(Microsoft IDの付与、iPhone貸与)が整備されるなど、スピード感をもって進化していた。まさに成長過程にある病院にとって、質の改善に取り組むなら一刻も早い方がよい。医療の安全性や質の改善には、受審は大きなチャンスであるとして、全職員にその意義を発信した。

すべての職員を巻き込むことに意義がある

職員はみな、「病院をよくしたい」という気持ちはそれぞれにあったが、第三者評価に対しては、非常に重苦しい試験を受けるような抵抗感を抱くものもいた。協議の末、最終的には、院長が、職員の背中を押す形で受審が決定した。院長は「質の改善は、一部の職員だけで取り組んでも意味がない」として、現場まで質改善を浸透させるシカケ(後述)を

発案した。院長、事務長、看護師長自らも最大限ICTツールを活用しながら、職員と密に情報を共有しあい、職員の取り組みに対し即時にフィードバックすることを繰り返した。その結果、院内のコミュニケーションが活性化し、すべての職員が改善活動に関わることが可能になった。

受審を検討している病院へのメッセージ

「受審を通して、情報の整理と理念を共有する仕組みが整い、ナレッジをうまく使える病院になりました。そのことこそが、病院の力になっています。小規模な病院ほど、一人あたりの負担は大きいかもしれません、受審までの過程を振り返ると、その負担以上に、質の向上という点における恩恵を永続的に得られたと断言できます。一時の負担はありますが、病院にとっても、そして患者さんのためにも、早く質の改善に取り組むことを強くお勧めします。当院も、より患者さんにとて魅力的で、そして職員にとっても、働いていて幸せになれるような職場づくりを目指し、今後も継続的な質改善をしていきたいと考えています。」



病院概要

病院名	医療法人 慈公会 公平病院	2023年2月時点
理事長	公平 誠	
院長	公平 誠	
所在地	埼玉県戸田市笛目南町20-16	
開設	1951年	
標榜科目	内科・外科・内視鏡内科・整形外科・形成外科・循環器内科・糖尿病内科・腫瘍内科・緩和ケア内科・神経内科・乳腺外科・皮膚科・リハビリテーション科	
病床数	66床（うちコロナ専門病床22床）	
病院HP	https://kodaira.life/	

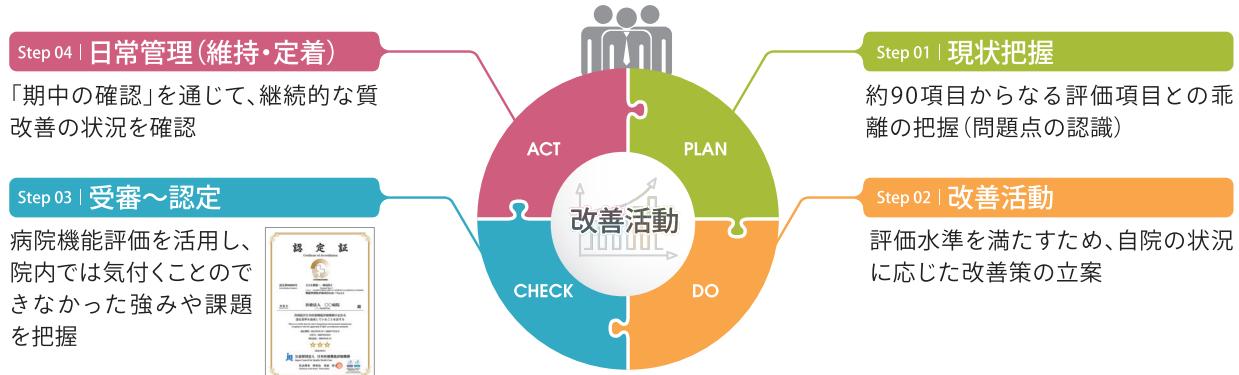
病院機能評価とは…

病院の質改善活動を支援するツールです。

患者さんの命と向き合う病院には、その医療の質を担保するために備えているべき機能があります。

国民の健康と福祉の向上に貢献することを目的とする公益財団法人として、1995年に設立された日本医療機能評価機構は、病院が備えているべき機能について、中立・公平な評価調査者チームによる「病院機能評価」審査を行い、一定の水準を満たした病院を「認定病院」としています。

評価を行う項目は「患者さんの視点に立って良質な医療を提供するために必要な組織体制」や、「実際に医療を提供するプロセス」、「病院全体の管理・運営体制」など、約90項目があります。信頼できる医療を確保することを目的に、評価調査者が病院の機能を評価することで、その病院の課題を明らかにして医療の質改善を支援するものです。



バックナンバーのご案内



バックナンバーは評価機構のホームページよりご覧いただけます。
<https://www.jq-hyouka.jcqhc.or.jp/tool/improve/>

スマートフォン・タブレットはこちらから



その他の活動

評価機構では質改善活動の支援として様々な活動を行っています。



スマートフォン・タブレットはこちらから



詳細はホームページをご覧ください ➡ <https://www.jq-hyouka.jcqhc.or.jp/>

Improve Vol.27 認定病院の改善事例紹介シリーズ

一般病院1(主たる機能)

2023年3月発行

発行:公益財団法人 日本医療機能評価機構
〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町1丁目4番17号 東洋ビル
TEL:03-5217-2326(評価事業推進部) <https://www.jq-hyouka.jcqhc.or.jp/>
E-mail:jushin@j cqhc.or.jp

